

令和2年度の学校評価（最終評価）

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着を図り、基礎基本となる知識・技術を習得させる。 ・学ぶ楽しさを体験させ、自ら学ぼうとする意欲と向上心を抱かせる。 ・基本的な生活習慣を確立させ、節度ある生活態度を身につけさせる。 ・計画的にキャリア教育を推進して自らの在り方生き方を考えさせるとともに、進路目標を早期に設定させ、その実現に向けて全力で取り組ませる。 ・部活動、学校行事、HR活動等を通して健やかな心と体の育成に努め、たくましく生きる力を養う。 ・美化活動、ボランティア活動等を通して、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 ・家庭及び地域と連携し、信頼され特色ある学校づくりに努める。 ・円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。 		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>広報活動 (総務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な広報活動の展開とPTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生やその保護者の興味・関心が高まるような学校案内を作成する。 ・ホームページによる情報発信や学校説明会・体験入部の実施などにより、本校進学を志す中学生に向けての広報活動を推進する。 ・ホームページ等の広報活動の充実やPTA新聞「櫛」を魅力あるものへと改善し、信頼される学校づくりを進める。 ・教職員とPTAとの連携を強めることで、学校の活性化を図る。 ・保護者対象の校外研修会や進路講演会などを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内は、表紙などを大幅に変更し、新制服を掲載するなど思い切ったリニューアルを行うことができた。管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行い丁寧に作成した。また、やむを得ないことではあるが、新型コロナの感染拡大等により、当初の予定より完成の時期が遅れた。 ・ホームページをできる限り早く更新し、学校行事、部活動の状況、試合結果等の最新情報を掲載するよう努力した。特に、第1回学校説明会が中止となったので、中学生に向けて部活動の活動の様子などを最新情報に置き換えた。また、個人情報等の保護に十分配慮した。 ・広報活動では、生徒の活動する様子、PTAの活動状況が伝わるように、今まで以上工夫に努めた。 ・保護者の期待に添うよう、他分掌と連携・協力を図りながら企画・運営を進めた。
<p>授業の活性化 (教務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となる授業の実践をめざし、授業改善の取組を教員間で共有できるようにする。 ・「総合的な探求の時間」の見直しに着手し、現行の内容に、より探究的な活動を取り入れた指導計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業や研究授業を活用して授業を参観し合い、生徒主体の授業の進め方について研究しようとする雰囲気を作る。 ・現1年生の「総合的な探求の時間」をベースとし、生徒が自ら課題を見つけて自主的に活動できる取組を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策に配慮しながら、少しずつ話し合いや発表を取り入れた授業を進めることができた。ただし、学習の遅れを取り戻せないまま新しい単元に入らざるを得ず、基礎学力の定着に不安が残る生徒もいる。今後は成績不振者への個別対応などに力を入れる必要がある。 ・「総合的な探求(学習)の時間」も、スマートフォンを使った進路情報の収集や修学旅行先の調べ学習など、新しい方法を取り入れた活動が展開されている。来年度以降も、生徒がより自主的に課題を発見し、解決に向けて他者と協同しながら活動できるような計画を策定していく。
<p>キャリア教育の推進 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した情報提供（全学年） ・模擬試験等の問題分析（全学年） ・進路意識を高める（3年） ・基本的な学習習慣の確立（1・2年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌の配布・配架 ・進路講演会等の実施 ・模擬試験や進路適性検査の活用 ・講座や面談の充実 ・学年と連動した継続的な啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌の配布・配架、オンラインやアプリを用いた情報収集、ICTによる模擬試験の案内を積極的に行った。 ・新型コロナウイルスの影響で、進路行事の内容は縮小したが、安全に留意して行うことができた。 ・共通テスト初年度に収集できた情報を教員間で共有するとともに、継続的に情報を更改することを今後も続けていかなければならない。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
交通安全 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時間をきちんと守らせ、心と時間に余裕を持たせることにより、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。また、交通安全教育を充実させ、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導と下校指導を強化し、心と時間に余裕を持って登下校させる。 自転車利用五則を周知徹底させる。 安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。 交通安全教室を通して、交通ルールの重要性や命の大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期だけの遅刻指数(1日当たりの平均遅刻人数)は昨年度が3.57、今年度は3.36とやや改善が見られたが、2学期も含めると3.85であった。指導を工夫し、遅刻防止に努める必要がある。 年度当初に交通マナーに関するご指摘を地域住民の方から多数いただいたため、生徒指導部で下校指導や交通安全指導を行った結果、比較的改善が見られた。 コロナのため今年度は交通安全教室が開催できなかった。来年度は例年通り実施したい。
校内美化 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 校内美化を推進し、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検を行い、点検結果を清掃監督に報告させる。 職員会議や校内放送を利用して、職員及び生徒に対して、季節・天候などに応じた重点目標を示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検は計画通りの日程で実施することができ、効率的・効果的な清掃美化活動を日常的に行うことができた。 職員・生徒に重点目標を具体的に示し、時期・天候に応じた清掃活動の実施を促すことができた。
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> 2回目となる学校祭を、昨年度の反省を活かして、より充実したものに仕上げる。 部活動時間の厳守 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事は、生徒が主体的に行えるよう生徒会執行部を中心に企画・運営させる。 生徒の役割分担を明確にする。 時間に余裕を持った計画を立てさせる。 活動場所を巡回する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で学校祭は、縮小して体育祭のみを実施した。感染症予防として種目や観戦時における様々な対策を講じた。対策を徹底させることは難しかったが、生徒の意識を高めるなど、概ね守って行うことができた。生徒会の準備では、道具の不備など課題はあったが、しっかり議論を重ねて企画することができた。 コロナの影響で活動の時間短縮を余儀なくされたこともあったが、一年を通してしっかりと守ることができた。
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> 読書啓発(朝読の充実) 教科における図書館利用の活性化(調べ学習等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。 公立図書館の団体貸出を利用した教科活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月に愛知県図書館で開催された『ビブリオバトル愛知県大会』で、本校生徒が優勝することができた。 公立図書館の団体貸出を利用して、「神戸・大阪・広島修学旅行」の調べ学習や、地歴公民科の「豊明市の歴史」の調べ学習をサポートした。
基本的な生活習慣の確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 豊明高校生として必要な基本的な生活習慣を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導を徹底し、「朝読」では落ち着いた雰囲気を作る。また、授業規律の確立を意識し、落ち着いた学習環境を整える。 早期に文理選択を意識させ学習に向かう姿勢を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読時には落ち着いた雰囲気を作ることができたが、遅刻生徒は少ない状態が続いたため、さらに指導を徹底させていきたい。 「総合的な探求の時間」やLTの時間を活用し、一学期から文理選択を意識するように繰り返し指導を行った。 模試分析を通して、進路意識の向上を図った。1月の模試分析もさらに充実させ学習指導に活用する。
豊高生としての自覚を高める (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習習慣の定着と、進路意識の醸造を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を遵守する。 授業を通して家庭での学習習慣を定着させる。 担任面談や総合学習を通して進路意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して、家庭学習時間の確保につながるよう企画した。 夏休みや「総合的な探求の時間」を活用し、進路に向けた調べ学習を行い、意識の向上を図った。 共通テスト後は出題問題に取り組みせ、受験生としての意識づけを図った。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導 （第3学年）	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実を図り、自主自立を促し、生徒一人一人が理想の進路実現が達成できるように寄り添う指導を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を大切にする。 年間を通じて同じ生活リズムになるよう指導し、学力だけでなく人間力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合型選抜などの多様化する入試に対して担任だけでなく学年団で情報共有しつつ取り組むことができた。 仕事の連携や分担は十分とは言えないが、学年団全体で仕事の内容の情報共有することはできた。
いじめ防止対策の推進 （いじめ不登校対策委員会）	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法や、その後の対処の在り方について検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナによる休校のため、第1回いじめアンケートは9月25日に延期となったが、毎週実施される担任会、生徒指導部会、学年主任会の中で生徒の情報交換を繰り返し、いじめや不登校の早期発見に努めた。第3回のアンケートでも迅速に集計を行い、教員間で悩んでいる生徒の情報を共有することができた。

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の定着を図り、基礎基本となる知識・技術を習得させる。 ・学ぶ楽しさを体験させ、自ら学ぼうとする意欲と向上心を抱かせる。 ・基本的な生活習慣を確立させ、節度ある生活態度を身につけさせる。 ・計画的にキャリア教育を推進して自らの在り方生き方を考えさせるとともに、進路目標を早期に設定させ、その実現に向けて全力で取り組ませる。 ・部活動、学校行事、HR活動等を通して健やかな心と体の育成に努め、たくましく生きる力を養う。 ・美化活動、ボランティア活動等を通して、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 ・家庭及び地域と連携し、信頼され特色ある学校づくりに努める。 ・円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。 		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>広報活動 (総務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な広報活動の展開とPTA活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生やその保護者の興味を高める学校案内を作成する。 ・ホームページを中心に、本校進学を志す中学生向けの広報活動をより一層推進する。 ・ホームページ等の広報活動の充実やPTA新聞「樺」をより魅力あるものへ改善し、信頼される学校づくりを進める。 ・教職員全員がPTAとの連携を一層強めることで、学校の活性化を図る。 ・保護者対象の研修会や進路講演会等を一層充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内は、管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行い作成することができた。 ・ホームページをできる限り早く更新し、学校行事、部活動の状況、試合結果等の最新情報を掲載するよう努力した。また、個人情報等の保護に十分配慮している。 ・広報活動では、生徒の活動する様子、PTAの活動状況が伝わるよう創意工夫に努めた。 ・保護者の期待に添うよう、他分掌と連携・協力を図りながら企画・運営を進めることができた。
<p>授業の活性化 (教務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となる授業の実践をめざし、授業改善の取組を教員間で共有できるようにする。 ・公開授業週間を活用し、気軽にお互いの授業を参観できるような雰囲気作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観後に、参観者が授業者に直接感想やアドバイスを伝える「参観シート」を作成し、今後の授業改善の参考にできるようにする。 ・初任者研修や教員経験者研修の研究授業では、教科を超えて参観してもらえるよう呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、新しい教育課程の検討を進める中で、単に授業時間数だけではなく「生徒に何を身につけさせるか」という観点で、授業の方法・内容に重点を置いた話し合いを進めていく予定である。 ・初任者、教員経験者研修を中心として研究授業が数多く行われているが、参観者が固定化している。授業参観や事後の話し合いの時間を確保するためにも、先生方の負担軽減につながる事務作業（成績処理など）の見直しを図る
<p>キャリア教育の 推進 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した情報提供を行う。 ・大学入試問題・各種テスト分析を適切に行う。(1～3年) ・主体的な進路選択への意識を高める。(3年) ・個々のキャリアデザインへの関心を高める。(2年) ・高校生活の基本となる、学習習慣の定着をはかる。(1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路通信及び進路講演会を効果的に実施する。 ・模擬試験や進路適性検査を有効に活用する。 ・講座・進路検討会及び各種面談を充実させる。 ・学年と連動しつつ、継続的な啓蒙活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路通信は概ね隔月間隔で発行できた。また新たに校内掲示の充実に取り組んだが、情報発信をより積極的に行う必要がある。 ・進路講演会は、講師に恵まれ生徒だけでなく教員にも有益であった。 ・進路検討会を年3回行い、現状確認や進路選択への方向性を協議できた。生徒層や環境の変化、教員の入れ替わりと若手の増加から、進路指導の継承と現状に合わせた改善が必要である。 ・講座や入試対応など集団・個別指導のあり方については、継続的に検討を続ける。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
---------	------	-------	---------

交通安全 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時間をきちんと守らせ、心と時間に余裕を持たせることにより、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。自転車を手を大切に扱い、自転車安全利用五則を遵守した通学マナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導と下校指導を強化し、心と時間に余裕を持って登下校させる。 自転車利用五則を周知徹底させる。 安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。 交通安全教室を通して、交通ルールの重要性や命の大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導の方法を少し変更した影響もあり、遅刻数を昨年度に比べて大きく減少させることができた。しかし、まだ時間ぎりぎりに登校してくる生徒が多数いるので引き続き注意していきたい。 自転車マナーの悪さを地域住民の方から何度も指摘をいただいた。マナー向上に向けてはまだまだ改善の余地があるのでこれからもHR掲示や全校集会の場面を通して粘り強く指導を続けていきたい。
校内美化 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 校内美化を推進し、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検を行い、点検結果を清掃監督に報告させる。 職員会議や校内放送を利用して、職員及び生徒に対して、季節・天候などに応じた重点目標を示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 美化委員による全清掃分担区域の点検は計画通りの日程で実施することができ、効率的・効果的な清掃美化活動を日常的に行うことができた。 職員・生徒に重点目標を具体的に示し、時期・天候に応じた清掃活動の実施を促すことができた。
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> 本年度、初の体育祭と文化祭の合体祭である学校祭を滞ることなくやり遂げる。 部活動時間の厳守。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会行事は、生徒が自らの手で企画・運営をしていく必要があることを理解させる。 生徒の役割分担を明確にする 焦って取り組まなくてもよいように運営側として時間に余裕を持った計画を立てる。 活動場所を巡回する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭は、係の連携が上手くいかなかったなど反省すべき点が多々見られた。しかし、改善すべきことはしっかりと改善していき、よりスムーズに行えるようにしていきたい。 行事の準備では予想以上に時間がかかり、焦って仕事が雑になったりした。そのため、もっと集まる機会を増やす必要があると感じた。 部顧問の協力のもと、時間はしっかりと守らせることができた。
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> 読書啓発(朝読の充実) 教科における図書館利用の活性化(調べ学習等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。 公立図書館の団体貸出を利用した教科活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月の「ビブリオバトル」に続いて11月にはハロウィーン企画「BOOKの福袋」を開催し、仮装した図書委員がお薦め本を持って教室を回った。 団体貸出を利用した教科の調べ学習をさらに広めていくために、11月の職員会議で実践例などを紹介して広報に努めた。
基本的な生活習慣の確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> 豊明高校生として必要な基本的な生活習慣を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「朝読」指導を始めとして、授業規律の遵守や整理整頓など落ち着いて学習に向かう環境を作る。 授業を中心に、特別講座や模擬試験を交えながら、学習に向かう姿勢を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 規律を守ることに室長会を中心に、生徒に考えさせる環境作りを行った。また、規律も大半の生徒が遵守できていたので継続したい。 学習に対して意欲的に取り組む生徒も見られた。その生徒が、今後より伸びるように指導していきたい。
豊高生としての自覚を高める (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と学習習慣を確立し、高校卒業後のキャリアを見すえた高校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「時間」「ルール」「マナー」「モラル」を守れるよう全体指導をする。 全体の成績不振科目数を減らすとともに、国公立プロジェクトを足掛かりにして、成績優秀者の層を厚くする。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行では大きな問題なく集団は動くことができて、一定の成果が出せた。今後はこの雰囲気を進路実現に向けて努力する方向へ向けていきたい。 学年のすべての層が模試の成績において7月から11月に伸びた。今後は更に国公立を確実に狙える層を増やす。また担任を中心に進路研究を進めたい。
進路指導 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> 教科指導の充実を図り、自学自習の学習習慣を定着させる。 生徒が主体的に自らの人生を切り拓くことができるように前向きに取り組む姿勢を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律を徹底し、毎日の授業を大切にする。 特別講座や土曜学習会への積極的な参加を促す。 試験結果を分析して学習指導や進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期進路決定者に対する学習の動機付けをうまく行うことができなかった。 入試制度の多様化などに関して教員間の情報共有をしっかりと行うことができた。
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題

いじめ防止対策の推進 (いじめ不登校対策委員会)	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組を充実させる。 いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法や、その後の対処の在り方について検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み評価アンケートによると概ね順調に実施されているという評価であった。今後も情報共有を密にして、早期発見と早期対応を心掛けていきたい。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の学校評価を踏まえ策定した重点目標は、概ね達成できたと考える。来年度は、さらなる改善が望まれる目標を設定し、具体的な方策を検討し、その具現化に向け実践する。 		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 教 務 授業の充実による学力の向上 生徒指導 日常的な通学マナーの向上
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> 授業の充実に向けて、授業規律を正し、集中して授業に取り組める環境を作るとともに、授業研修を活用して授業力向上を図った。生徒一人一人が主体的に取り組める授業改善の工夫を検討していきたい。 通学マナーの向上を図るため様々な啓発活動を行っており、地域からの交通マナーに関する要望が減少した。今後も根気よく継続的に交通安全意識を高めていきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で策定した評価規準を元に、生徒個々の学習活動を適正に評価する。主体的な学びのために、各教科での取組み目標を教員間で共有し実践する。また、研究授業や公開授業週間を効果的に活用して、多くの教員に参観を促し授業改善への意識付けを行いたい。 交通安全指導については、今後も全校体制で啓発活動や登下校の指導を継続していく必要がある。さらに、保護者への交通安全指導への協力依頼を繰り返し行っていく。
その他（学校関係者評価委員 員から出された主な意見、 要望）	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の推進にあたり、職業に結びつけるための方法を具体的に示すとよい。地域で活躍する人や卒業生など、身近な職業人の講話を取り入れることも有効である。 現2年生から実施される大学入学共通テストや英語の民間テストの導入が始まる。新入試に向けた情報収集と生徒や保護者への情報提供を早い時期から行ってほしい。 部活動の教育的効果には高いものがある。教員・生徒の負担等を考慮し、今後は個々の教員の指導力に頼るのではなく、組織的に指導する体制を整える必要がある。 教員の働き方改革については、業務の精選と優先順位を明確にして、教員として最も重要な職務である教材研修の時間を確保してほしい。
学校関係者評価委員会の構 成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成…学校評議員4名、PTA役員（保護者） 評価時期…10月～11月、2月～3月

(5) 経営管理上の問題点等

施設・設備等で老朽化が進んでいる箇所が見られる。安全点検や衛生委員会による校内巡視を確実にし、修繕等が必要であれば迅速に対応し、学習環境の整備に努めていく。